

職業実践力育成プログラム（BP）への申請について

令和4年10月4日

①学校名：	日本赤十字秋田看護大 学大学院	②所在地：	秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3		
③課程名：	看護学研究科 看護学専攻 修士課程	④正規課程／履修証明プログラム：	正規課程	⑤開設年月日：	2011/4/1
⑥責任者：	看護学研究科長 佐々木久美子	⑦定員：	看護学専攻修士課程12名	⑧期間：	2年
⑨申請する課程の目的・概要：	本大学院の教育理念は、「活動のあらゆる状況の中で、その人の生命と健康を守り、人間の尊厳を確保する働きをする」と謳う赤十字の基本理念のもとに、あらゆる人々の健康に貢献することである。本大学院の立地する秋田県を含む東北地方は少子高齢化が急速に進行し、生活の質を高める人材の育成が急務である。本課程では、必要とされる医療や政策に関する看護の方法論を評価し、深い洞察力に裏付けられ人と健康を総合的に評価できる高度な専門性を持ち、科学的根拠に基づく職業実践力と研究力を併せ持つ専門職者の育成を目指す。多くの実務家及び実務家教員が担当する教育課程編成により、「基盤看護学」、「健康生活・療養生活」、「成育看護学」、「高度実践看護学」の4分野を構成するが、学習者は学ぶ意欲に応じて分野を越えた履修を可能とし、看護師、保健師、助産師、養護教諭、介護福祉士などの専門職者に求められる能力を獲得・定着させ、さらにブラッシュアップさせる教育プログラムを構築している。				
⑩10テーマへの該当の有無	有 7 医療・介護	⑪履修資格：	次の各号（大学院入学資格）のいずれかに該当する者とする。 1 大学を卒業した者 2 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 4 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 5 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者 6 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 7 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者 8 旧制学校等を修了した者 9 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者 10 本大学院において個別の入学資格審査により認められた22歳以上の者		
⑫対象とする職業の種類：	1) 実務に携わる看護師・助産師・保健師・養護教諭及び介護福祉士等の専門職者 2) 保健・医療・福祉・介護・教育分野で管理的・指導的立場を目指す者 3) 保健師助産師看護師学校養成所等において教育業務に従事している者				
⑬身に付けることのできる能力：	(身に付けられる知識、技術、技能) 人道 (Humanity) を基本的理念とする建学の精神に則り、広く精深な学識と、看護学の学術的・実践的研究を教授することにより、その奥義を究め、より高度な専門性を以て社会に貢献できる有為な人材を育成する。具体的な教育目標として、以下の6つの能力の獲得を目指す。 ①深い洞察力に裏付けられた高度な専門性。 ②人の生活と健康を考慮し高度な判断のもとに支援できる能力。 ③人の尊厳を確保するための倫理観を持ち、「人道」に基づく感性。 ④看護学の研究倫理を遵守し、研究を推進できる能力。 ⑤高度な医療や医療政策に対応する看護の方法論を評価できる能力。 ⑥地球規模での健康問題を視野に入れ、国際的な災害や貧困の中で看護を実践できる能力。		(得られる能力) 期待される能力として以下の4項目を獲得し、修了後は、健康課題やその背景となる社会課題の解決に向けて、指導的立場となることを目指す。 ①人間の尊厳と権利を尊重し行動できる豊かな人間性。 ②看護学の発展に寄与できる実践・教育・研究に取り組むための基礎能力。 ③ケアの場で生じている課題の創造的問題解決に必要なマネジメント力、人材育成力。 ④地域連携を図り、リーダーシップを発揮しヘルスプロモーションや包括ケアを推進する能力の獲得。		
⑭教育課程：	教育課程の編成・実施に関する方針として、全ての学生が修了時までにディプロマ・ポリシー (DP) に掲げる能力を身につけることを目標に、共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を組み合わせた授業科目を開講し、以下のよう にカリキュラムを編成しています。 DP1 「人間の尊厳と権利を尊重し行動できる豊かな人間性」を獲得するために、人間・看護をより深く理解するための共通科目、共通専門科目を置く。本学の理念である人道への理解はカリキュラム全体を通して深めるものとする。 DP2 「看護学の発展に寄与できる実践・教育・研究に取り組むための基礎能力」を獲得するために、看護研究をはじめとする必修科目と分野ごとに設定する特論と演習により達成する。研究に取り組むための基礎能力は、国際的な知見を利用するスキルを身につけながら、課題研究もしくは特別研究の一連の流れの中で、方法論の基礎から論文作成までの過程を効果的にたどれるように考慮している。 DP3 「ケアの場で生じている課題の創造的問題解決に必要なマネジメント力、人材育成力」を獲得するために、各分野の特論や演習を通して問題の総合的判断と課題解決力を培う。そのために、共通科目、共通専門科目、専門科目を置き、選択必修とする。 DP4 「地域連携を図り、リーダーシップを発揮しヘルスプロモーションや包括ケアを推進する能力」を獲得するためには、特論と演習の中で地域連携とヘルスプロモーションを含む内容とすることで達成する。				

⑮修了要件（修了授業時数等）：	2年以上在学し、定められた修了要件単位数30単位以上〔①共通科目及び共通専門科目から10単位以上（必修「看護研究Ⅰ」を含む） ②①以外の共通専門科目及び右記以外の専門科目から6単位以上 計16単位以上 但し①または②に共通専門科目から1単位以上を含む〕・〔専門科目として専攻分野の必修科目6単位〕・〔必修研究科目として「看護研究Ⅱ」2単位「特別研究」6単位、計8単位〕を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することとする。							
⑯修了時に付与される学位・資格等：	修士（看護学）の学位							
⑰総授業時数：	138	単位	⑱要件該当授業時数：	136	単位	企業等 双方向 実務家 実地	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数：	98.5%
⑳成績評価の方法：	授業科目を履修し試験に合格した者に所定の単位を与える。成績の評価は当該授業科目の担当教員が行う。試験は筆記試験に限らず、論文、レポート、実技の成績等によってこれに代えることがある。課題研究の成績は、合格、不合格の評価をもって表す。							
㉑自己点検・評価の方法：	学内規程「内部質保証の方針・手続き」に基づき、学校教育法109条第1項に定める評価を実施し、その評価結果を大学ホームページにおいて広く公表している。また、大学全体の内部質保証に責任を負う組織として、経営会議のもとに内部質保証委員会を置き、本コースの成果の検証や評価を行っている。その内容は、大学院の企画・運営を担う「研究科委員会」において共有し、その結果に基づき教育の改善充実を図る。							
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法：	教育プログラムにおいて目標となる学習成果を明確にし、それに対して学生がどの範囲と水準まで獲得したかを把握する取組みを、大学院の修了生に対し「評価アンケート」を通じて実施し、その結果を省察することにより効果を検証し、学習成果の把握・教育課程編成の改善に役立てている。							
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み：	<p>（教育課程の編成）</p> <p>本学に隣接する秋田赤十字病院を、教育研究における最も重要なパートナーとして位置づけ、よりよい教育活動を行うための協議を必要に応じて開催し、臨地実習及び教育課程に対する意見交換を行い、看護教育を中心とする教育機関としての質保証体制構築に努めている。</p> <p>あわせて本プログラムにおいては、秋田赤十字病院を含む複数の連携企業等との間で「職業実践力育成プログラム検討会（仮称）」を年に1回以上定期的に開催し、本プログラムの教育課程編成に関する事項並びに本プログラムを通じた社会人の職業に必要な能力の向上に関する事項を協議し、社会に有為な人材を輩出する本プログラムの機能向上に資するために、外部機関の意見を積極的に取り入れる仕組みを整える。</p> <p>（自己点検・評価）</p> <p>学長の諮問に応じて大学の運営に関する重要事項を調査審議し、また大学の取組について点検・評価のサイクルを確立するため、行政（秋田県高等教育政策担当者）・秋田県内高等学校関係者・病院関係者・福祉施設関係者・卒業生又は保護者・学識経験者等で構成される「外部有識者会議」を設置している。この「外部有識者会議」には、連携企業等の役職員も参画する仕組みを整え、入学者選抜や教育内容に対する意見を伺い、大学運営と教育の質保証体制構築に努めている。</p>							
㉔社会人が受講しやすい工夫：	長期履修制度、夜間・週末の開講、集中講義、科目等履修生制度を活用した入学前からの単位の取得 多様なメディアを高度に利用した授業（ビデオオンデマンドやビデオ会議システムを利用した遠隔授業） 大学院設置基準第14条の特例による昼夜開講制 大学院研究室は学生IDカードにより24時間利用可能 厚生労働省 教育訓練制度							
㉕ホームページ：	（URL） https://www.rcakita.ac.jp/graduate							

事務担当者名：	南部 直気	所属部署：	日本赤十字秋田看護大学 事務局 参事
連絡先：	（電話番号）	018-829-4000(代表)	
	（E-mail）		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

*様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ（文部科学省使用）」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。